

請 願 文 書 表

平成27年10月盛岡市議会定例会（平成27年10月20日）

受理 番号	受理年月日	請 願 の 要 旨	提 出 者 及 び 紹 介 議 員	付 託 委員会
7	H27. 10. 13	盛岡市動物愛護センター 一設立に関する請願	盛岡市菜園二丁目6番6号 三栄ビル2F 猫カフェ もりねこ 代表 工 藤 幸 枝 (紹介議員) 天 沼 久 純 高 橋 重 幸 鈴 木 礼 子 兼 平 孝 信 伊 達 康 子 守 谷 祐 志	教育福祉 常任委員会
8	H27. 10. 13	私学教育を充実・発展 させるための請願	盛岡市本町通三丁目18番32号 三和マンション101号 私学助成をすすめる岩手の会 会長 新 妻 二 男 (紹介議員) 天 沼 久 純 高 橋 重 幸 鈴 木 礼 子 兼 平 孝 信 伊 達 康 子 守 谷 祐 志	教育福祉 常任委員会
9	H27. 10. 13	子どもの医療費助成制 度拡充を求める請願	盛岡市西松園三丁目19番6号 子どもの医療費助成制度拡充を求 める盛岡の会 代表 米 沢 俊 一 (紹介議員) 高 橋 重 幸 鈴 木 俊 祐 鈴 木 礼 子 兼 平 孝 信 守 谷 祐 志	総 務 常任委員会

平成 27 年 10 月 13 日

盛岡市議会  
議長 菊田 隆 様

請願者

盛岡市西松園 3 丁目 19-6

子どもの医療費助成制度拡充を求める盛岡の会

代表 米沢 俊一

019-661-3103

子どもの医療費助成制度拡充を求める請願

【紹介議員】

鈴木 俊祐

高橋 重幸

兼平 孝信

鈴木 礼子

寺尾 祐志

請願第 9 号



## 子どもの医療費助成制度拡充を求める請願

### 【請願趣旨】

子育て世代を取り巻く経済困難は年々広がり、子どもの貧困率も増え続けています。平成24年の国民生活基礎調査によればその数字は16.3%と、実に子どもの6人に1人が貧困状態にあることを示しています。

以前から子どもの医療費助成拡充を望む声は大きく、私たちの身近でも「窓口負担分のお金がなく病院に行けなかった」「慢性の病気で定期的に通院しなければならないが経済的負担が大変」などの声が聞かれます。昨年9月に結成された「子ども医療費助成拡充を求める岩手の会」が実施した中学校卒業まで医療費窓口負担無料を求める署名が、わずか10カ月足らずで7万筆近く寄せられたことにも象徴されています。

子育て現役世代の切実な声とこのような運動が功を奏し、岩手県の医療費助成制度は大きく動き出しました。しかしまだ、通院は就学前まで・入院は小学校卒業まで、来年度実施される現物給付方式も就学前までにとどまっています。

このような状況の中で、県都である盛岡市が独自に県の制度に上乗せした助成拡充を行うことは、県内他市町村をリードし、岩手県の制度をもさらに動かす力になります。「せめて義務教育である中学校卒業までは医療費の窓口負担を無料に」という切実な声にどうか応えて下さい。

子育て世代の経済的困難が広がるなか、少子化対策・子育て支援の観点からも、子どもの医療費助成制度は今後ますます充実していくことが望まれます。厚生労働省の調査でも、すでに全国の過半数の自治体が中学校までの助成を行っているなど、盛岡市においても医療費の助成制度拡充は喫緊の課題との考え、下記の項目を請願いたします。

### 記

### 【請願項目】

1. 中学校卒業までの医療費は、一部負担をなくし全額を助成すること
2. 医療費助成制度はすべて現物給付方式にするよう岩手県に強く要請すること

盛岡市動物愛護センター設立に関する請願

天沼 久純  
高橋 重幸  
鈴木 礼子  
兼平 孝信  
伊達 康子  
寺谷 祐志

平成 27 年 10 月 13 日

盛岡市議会議長 菊田 隆 様

請願者

住所

〒020-0024

盛岡市菜園 2 丁目 6-6 三栄ビル 2F

氏名

猫カフェ もりねこ

代表 工藤 幸枝



019-613-7773

請願第 7 号



## 盛岡市に動物愛護センターの設立に関する請願

### 【請願の理由】

近年は「コンパニオンアニマル」という呼称も使われるようになるなど、犬猫を単なる「ペット」としてではなく「家族の一員」としてとらえる人も多くなってきました。反面、飼い主側の身勝手な理由で捨てられたり、飼い主に保健所に持ち込まれ殺処分される犬猫も後を絶ちません。また、無責任な野良猫への餌やり行為による住民トラブルから保健所に持ち込まれる猫たちもいます。

2015年4月1日現在、盛岡市保健所には付帯施設として動物愛護センターが併設されておりません。そのため、市民から犬・猫の持ち込みがあった場合は県央保健所の「犬抑留所」へ業務委託しています。当該施設は昭和44年に建設された施設であり、老朽化が著しいため保護した動物を適切に保管することが難しく、また保護数・保護期間も最小限にとどめざるを得ません。そのため、飼い主がいる動物が飼い主のもとに返還される機会が奪われたり、適切なケアを受ければ助かる可能性のある命が助けられない、といった事態が起きています。

「所有者が判明している犬・猫及び所有者が判明していない犬・猫に関して生きる機会を最大限与えること」「殺処分0を目指すこと」を実現するため、早急に盛岡市に市立の愛護センターを設立することが必要です。以下請願いたします。

### 【請願 事項】

- ・盛岡市保健所に保護された動物たちを適切に保管するとともに、動物愛護と適正飼養の普及啓発の拠点施設として、盛岡市立動物愛護センターの設立を求めます。

2015年(0月)13日

盛岡市議会議長殿

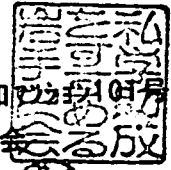
請願者

盛岡市本町通り三丁目18の32 三和

私学助成をすすめる岩手の会

会長 新妻 二男

事務局 Tel.019(622)0944



### 私学教育を充実・発展させるための請願

紹介議員

天沼 久純  
高橋 重幸  
鈴木 礼子  
兼平 孝信  
伊達 康子  
寺 峯 祐志

請願第 8 号



# 私学教育を充実・発展させるための請願書

## 請願の趣旨

日頃の私学振興に対するご尽力に敬意を表します。特に昨年度も私たちの請願（陳情）を、県内の多くの市町村議会が採択して下さったことに対しまして、心から御礼申し上げます。

岩手県は国の私学関係予算が毎年のように増額している中、財政赤字を理由として、高校生一人当たりの補助単価を平成16年度の340,570円を最高に、平成20年まで4年連続で削減しました。しかし、市町村議会からの意見書を始めとする県民からの声で、平成21年度より増額に転じ、今年度も岩手県の私学助成金（運営費補助）は高校生一人当たりの補助単価で339,940円（昨年度336,444円）と増額となりました。

それでも、私学と公立の学費格差は依然として大きく、私学の教育諸条件（施設・設備など）は全体として公立より劣っています。さらに、4年前の大震災によって施設・設備に甚大な被害を受けた学校も少なくありません。体育館が再建できないなど、教育活動に大きな支障をきたしている学校もあります。また、世帯の所得に応じて、授業料に対する就学支援金が支給されますが、私立高校には授業料に加えて実質的な授業料に相当する高額な「施設設備費」「教育維持費」等があります。現行の就学支援金だけでは公私間格差は是正されません。学費を支払うことができずに退学せざるを得ない生徒もなくなりません。私たちは、このような状況を早急に改善し、公立でも私立でも学費を心配せずに生徒が安心して学べる環境にしなければならないと考えています。

「少子化」進行の中で、公立・私立を問わず学校存立の危機がどの市町村でも迫っています。学校がなくなることは、その地域全体の過疎に拍車をかけることになり、地域の振興という点から見ても、憂慮すべき事態であると考えます。

私たちは、「少子化」の今こそ、教育諸条件（30人学級、教育費負担軽減など）を抜本的に改善する絶好の機会だと考えます。また、このことが「少子化」歯止めの有効な対策になると考えます。

以上のような趣旨から、下記の項目を実現して下さいますよう、請願いたします。

## 請 願 事 項

1. 貴市内に設置されている私立高校に対して運営費補助を増額して下さい。
2. 貴市の住民で岩手県内の私立高校に在籍する生徒の保護者に対して、就学援助金を給付して下さい。
3. 国及び県に対して、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実することを求める意見書を提出して下さい。

以 上